

## 第5回苫小牧市中小企業振興審議会要旨

- 1 日時 平成26年10月1日(水) 13:30～15:30
- 2 場所 旧勤労青少年ホーム 2階会議室
- 3 出席

(1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員

川島会長、市古副会長、秋山委員、岩佐委員、鹿毛委員、小玉委員、坂本委員、佐藤委員、谷本委員、伴辺委員、林委員、三澤委員、矢野委員

(2) 事務局(市)

福原産業経済部長

片原産業経済部次長

商業観光課 : 池田課長、銅主査、畑山主査、安藤主事

工業労政課 : 桜田課長、大津主事

### 4 概要

(1) 開会

▽会長 : 開会宣言

(2) 議事

①帯広市視察報告について

▽会長 : 会長作成資料、資料1に基づき帯広市産業振興会議の視察内容を報告。

②苫小牧市官公需契約実績について

▼事務局 : 資料2に基づき苫小牧市官公需契約実績を報告。

③苫小牧市中小企業実態調査中間報告

▼事務局 : 資料3に基づき苫小牧市中小企業実態調査中間報告を説明。

#### 【質疑応答】

▽委員 : 回収率が低いように感じる。

▼事務局 : 回収率については判断に迷う。帯広市の調査の回収率も30%前後。

▽委員 : 経営者の生の声を聞いてほしい。また最終報告で、大企業、中企業、小企業で分けて分析をしてほしい。

▼事務局 : 最終の報告書でまとめていく。

▽副会長 : 「企業が抱える問題点」のトップが人材育成、人材確保。しかし「企業が求める施策の拡充」では人材に関する回答数が少なく、矛盾している。施策的支援制度等についての回答、または活用したことがないという回答に対してどのような対策をとるのか。

▼事務局 : まとまり次第報告する。施策の周知方法も検討する。

▽委員 : 最終のまとめは年度末か。

▼事務局 : 年度末ではないが早急にまとめる。

▽委員 : ヒアリング調査が必要なのではないか。

▼事務局 : 同友会や商工会議所の集まりに参加して生の声を聞いていきたい。

#### ④人材育成と事業承継について

▼事務局：資料4に基づき人材育成と事業承継、中小企業大学校について説明。

##### 【質疑応答】

▽副会長：苫小牧商工会議所で講座受講料の一部補助の活用状況はどうか。

▽委員：年間予算20万円で超えたらお断りしているほど好評。

今期の予算もほぼ使い切っている。市も支援制度を検討中とのことで今後連携していきたい。

▽委員：関心のある事業所は集中的に利用しているのか。

▽委員：1事業所で年間5人までだが、多くの従業員を出す事業所もある。公平性を保てるよう努めている。

▽委員：中小企業大学校の受講日数はどのくらいか。

▽委員：コースによって違うが1日～1週間程度。補助は1日でも1週間でも6000円。

▽委員：中小企業大学校だけが支援メニューということか。

▼事務局：今回は人材育成の1つの手段としての紹介で、このような管理者育成の学校もある。

▽委員：北海道には人材育成できる外部機関が少ないのか。

▽委員：職業訓練学校等あり、出前講座を行っている機関もある。

▽委員：企業が外部機関で人材育成することは可能。

▽委員：周知が必要。

▽委員：各団体で行っているがまとまった情報源が無い。

▽委員：企業はもっと参加したらいいと思う。

▽会長：中小企業には周知と後押しが必要だと思う。

▽委員：札幌市の産業振興ポータルでは様々な機関の研修情報が検索できる。札幌市を参考にするのがいいのではないか。

▼事務局：資料5・6・7・8に基づき中小企業相談所の相談件数、各機関の経営改善サポート事業、事業引継ぎ事業等を紹介。

▽会長：人材育成、事業承継について議論していきたい。

▽副会長：実態調査中間報告で売上の傾向が横ばいと減少の事業所が約8割、利益では約9割。経営意向は現状維持が62%で、この結果をどうとらえたらよいか。課題として受注量が減っている等が挙げられている状況で具体的な施策を考えているのか。

▼事務局：私なりに感じたことは、この1、2年は景気は回復傾向にある。過去5年の売上傾向となると、東日本大震災後の景気回復で仕事はあるが、リーマンショック後のリストラの影響で人材がいらないという状況である。最終報告では分析結果をまとめる。

▽委員：多くの部分は周知が足りない。市の広報に載せるのはどうか。

▼事務局：枠は持っていないが、年に数回融資制度やセミナー関係を載せている。

▼事務局：あくまで広報は全戸配布で市民向けのもので、健康、福祉等、さまざま

まな情報を掲載している。集約がまとまっていないように感じるかもしれないが、広報の仕組みを理解してほしい。周知の部分については、工業系の人材育成技術支援団体等はその業界には知られていても、その他には周知はされていないように思う。中小企業振興に関する情報発信のホームページを作成するなどし、情報発信の取組みを行いたい。

- ▽委員 : 各団体の取組みを一箇所のページを見ればわかるという案は賛成。ぜひ取り組んでほしい。
- ▽委員 : 様々な勉強の機会を周知する必要があると思う。
- ▽委員 : 苫小牧のキッズタウン（職業体験）を紹介。子供たちに様々な職業体験できる機会を作してほしい。将来の職業選択の幅が広がると感じる。
- ▽会長 : 子供たちが職業意識を高められる機会は必要。
- ▽委員 : 帯広市の視察について聞きたい。
- ▽委員 : 帯広では中小企業家同友会が活躍し活発な議論をしている。また十勝等々で農業を基幹産業とし目標を1つにしている。苫小牧は実態調査の結果をある程度整理していくと、答えが見えてくるのではないか。
- ▽会長 : 帯広でいいと思ったことは学校の教員に企業のインターンシップに参加してもらい、体験したことを子供たちに伝えるということ。ほかに、働くことの副読本を作り教育現場に配布するということ、企業に対してはメンター制を導入するということはどうか。苫小牧の現状を見て導入できればと思う。
- ▽委員 : 女性が事業承継した日本電鍍工業を紹介。女性も後継者と見たら人材も増えるのではないか。また検査部門は女性が向いている。女性に合った仕事を与えるとよいと思う。
- ▽委員 : 新米と古米のブレンド米をお土産用として販売していたこと、高校生が地元の食材を使ったお弁当を販売していたことを紹介。社会と関わりを持つことで自信になるのではないか。
- ▽委員 : 事業承継は女性側も考え、お互いに意識を持ち、やらなければならない。
- ▽委員 : 中小企業団体中央会の事業承継、人材育成の取組みを紹介。セミナーは現経営者向けと事業を受け継ぐ若者向けがある。事業承継は実際やらないとわからない部分が多い。事前の準備が必要。他にも接客マナー研修、クレーム対応講習を行った。課題は人材不足の中で、研修に参加する時間がないということ。
- ▽会長 : 時間に関係なくビデオやインターネットで学習する部分はあるか。
- ▽委員 : 特にない。講師の先生がそういったツールを販売している。
- ▽委員 : 実態調査の結果で今後廃業にぶれる可能性がある企業が76.7%。団塊の世代で今後どうしようかと考えている部分が見える。人材育成をスピードアップしなくてはならない。
- ▽委員 : 調査で経営者本人が回答している比率はどの程度か。経営者が人材育成について切実に考えているようなら、そういう情報を自分から求め

てくると思う。経営者自身が経営のことを学ぶ機会がないと思う。学ぶ時間帯を工夫して設定し、その機会をどう増やしていくかという段階にある。

- ▽副会長：移動販売、宅配出張サービスについての調査結果を市民の利便性の機会を得られるようなチャンスにしてほしい。
- ▼事務局：結果を買い物サポートマップに反映し作成する。
- ▽委員：次年度に向けての方向性はどのようなものになるのか。
- ▽会長：調査結果が見えてきた段階で、そこから見える根本課題を部会で検討していきたい。
- ▼事務局：会長を中心としてテーマごとに勉強会を行っている。
- ▽委員：勉強会は何回か行っていたか。できれば誘ってほしい。
- ▽会長：4回程度で、それぞれのテーマで声かけを行った。いろいろな意見を集めていきたい。
- ▽委員：スピード感をもってやらないと中小企業は先が見通せない状況で廃業してしまう。好景気も東京や大企業のみで、北海道まで来なかったことも多い。今回の調査で経営分析するために、ヒアリング調査が必要だと思う。

### (3) その他

- ▽会長：「第1期苫小牧市中小企業振興審議会報告のスケジュール」について。第1期の成果としての報告書を作成したい。次回審議会までに意見等を考えておいてほしい。
- ▽委員：豪雨による冠水被害に対しての助成や融資はあるか。
- ▼事務局：道路は都市建設部で補修等をしている。融資は北電の値上げ対応を例に挙げると、北海道で用意している融資があり、市も商工会議所と連携し、道より低い利率の融資を用意している。
- ▽委員：災害の場合、全国規模の大きな災害でないと特別相談室、特別融資枠ができない。
- ▽委員：西部地区は被害がひどかった。
- ▽委員：日本政策金融公庫は様々工夫していて、そちらと連携をとっている。
- ▽委員：まちかどミーティングで中小企業振興のことを紹介したらどうか。
- ▼事務局：まちかどミーティングのテーマは最終的に市長が決めている。
- ▼事務局：次回の審議会日程を説明。
- ▽委員：2年間の審議を経てきたので具体的な形を提案してほしい。来年度具体的なプランで動いていけたらよいと思う。

### (4) 閉会